

Notice board

■学会活動報告及び会告の原稿提出期限について (お知らせ)

学会活動報告及び会告について、学会誌に掲載をご希望の場合、各号発行日の前月末までに原稿をご提出下さいますようお願い申し上げます。

巻号	発行日	原稿提出期限
Vol. 63 No. 6	2026 年 11 月 25 日	2026 年 10 月 30 日
Vol. 64 No. 1	2027 年 1 月 25 日	2026 年 12 月 31 日

提出先: post@landslide-soc.org

発刊予定と投稿原稿の募集

予定巻号	発刊予定年月	特集内容 (予定)	投稿申込締切期日	原稿締切期日	募集要領掲載巻号
63(5)	2026 年 9 月	—	—	—	—
63(6)	2026 年 11 月	地球温暖化に直面する寒冷地の斜面変動研究	2025 年 12 月 15 日	2026 年 4 月 15 日	62(5)
64(1)	2027 年 1 月	—	—	—	—
64(2)	2027 年 3 月	海外の地すべり	2026 年 4 月 15 日	2026 年 7 月 31 日	63(1)
64(3)	2027 年 5 月	—	—	—	—
64(4)	2027 年 7 月	令和 6 年能登半島地震による地すべりと地震地すべりの防災・減災対策	2026 年 8 月 31 日	2026 年 11 月 30 日	63(3)
64(5)	2027 年 9 月	—	—	—	—
64(6)	2027 年 11 月	近年の地すべり地形判読技術の動向と利活用	2026 年 12 月 15 日	2027 年 4 月 15 日	63(5)

*一般投稿とシリーズ「地すべり探訪」、ニュース、フォーラムは随時募集しています。

■特集「近年の地すべり地形判読技術の動向と利活用」 原稿募集

○特集名: 近年の地すべり地形判読技術の動向と利活用

英文: Recent trends in landslide interpretation and its applications beyond

近年、官民のオープンデータの推進や UAV 等の普及によって、高精細な地形データを容易に取得できるようになり、地すべり分野においても目的に応じた種々の地形表現図の作成・利活用が一般的になってきました。また、災害発生時には、災害直後の地形データが迅速に公開され、各現場で作成された地形表現図が救助活動やその後の復旧活動等に利活用されるなど、地形表現図の社会的重要性が認識されてきています。地形表現図は、地形判読や地形解析を補助するための重要なツールであり、近年の技術的な進化は目覚ましいものがあります。

一方、地すべり地形判読には、地形はもとより地質との関連も理解する必要があるなど、幅広い知識と豊富な経験を要する技術です。これまでの知見を基に、どのように新たな技術を活用するのか、多数の試みによってノウハウが蓄積されつつあります。しかし、地質情報など地すべりに関連する全てのデータを高解像度で得ることは難しく、課題も残されています。さらに、様々な要素が複雑に関連する地すべり地形の判読技術を短期間に習得することは困難であり、先達が培ってきた知見の集積や技術継承は、地すべり分野における課題の一つとなっています。

そこで本特集号では、地すべり判読技術の向上に資する最新技術の動向やその利活用に注目し、下のテーマ例に関する最新の研究成果について、幅広く原稿を募集します。

○公募原稿のテーマ例

- ①地すべり地形判読へのリモートセンシングデータの利活用と課題および将来への展望
- ②地すべり地形判読の精度向上を目指した地形表現図作成技術
- ③新たな地すべり地形解析および地すべり判読技術の提案
- ④新たな地すべり判読技術や地形表現図をフィールド調査に活用した事例
- ⑤地すべり判読技術および地形表現図の防災および他分野への応用
- ⑥地すべり地形判読技術の継承に向けた取り組み

○募集原稿: 研究ノート、論文、技術報告、総説

○発刊予定: 第 64 巻 6 号 (2027 年 11 月末頃発行予定)

○投稿申し込み: 2026 年 12 月 15 日までに日本地すべり学会事務局あてメールにて送付

- ・申し込みアドレス: post@landslide-soc.org
- ・メールの題名: 特集号原稿申込 (著者名) を記入
- ・申込み横目: 特集名、題名、著者名、所属、連絡先住所、電話、メールアドレス、原稿種別、要旨 (200 字程度、添付ファイルとせず、本文に入れてください。)

○原稿執筆

- ・執筆要項: 学会誌第 62 巻 1 号または学会 HP に掲載の執筆要領
- ・原稿締め切り: 2027 年 4 月 15 日
- ・原稿送付先: <https://www.editorialmanager.com/jls/> (Editorial Manager を利用した電子投稿とします。)

なお、投稿いただいた原稿は、特集号の原稿と同様に査読をおこないません。したがって、内容によっては通常号への掲載をお願いすること、あるいは掲載をお断りすることもありますので予めご了承ください。